



## 一般社団法人日本マスキング学会 2024年度第1回理事会議事録

日時：2024年7月8日（月）18：00～19：20

会場：Web 開催

議長：大浦敏博 理事長

出席：石毛信之、石毛美夏、伊藤哲哉、大石公彦、大浦敏博、窪田 満、九曜雅子、  
倉澤健太郎、小林弘典、酒本和也、但馬 剛、田島敏広、中村公俊、沼倉周彦、  
花井潤師、濱崎考史、南谷幹史、吉田真一郎（以上理事）  
重松陽介、山口清次（以上監事）

欠席：小原 收（理事）

理事：18名、監事：2名、出席者合計：20名（理事総数19名） 以上敬称略

議題：

### 1. 開会の辞（大浦 理事長）

- ・出席者が定数を満たしたため、理事長より定時にて理事会を開催する旨挨拶があり、理事会は開会した。

### 2. 審議事項

#### 1) 財務関連

##### ①2023年度決算報告案（田島 財務委員会委員長）

- ・2023年度の決算は、一般会計・収益事業会計と精度管理会計とに分けて作成している。
- ・収益事業の収入項目は会誌広告費、学会誌販売収入など、支出項目は会誌発行費、租税公課のほか、会議費、事務局委託費、通信費、事務用品費、顧問料などである。

##### 【一般会計（収益事業含む）】

###### 「収入の部」

会費収入：会員会費435名分、賛助会費16口分。

研修費収入：オンデマンドにて開催した研修会参加費。

寄附：タンデムマス・スクリーニング普及協会から110万円、第50回学術集会から余剰金約450万円の寄附あり。

###### 「支出の部」

会誌発行費：年間3号分の学会誌制作・印刷・発送費のほか、編集費用など。

会議費：理事会・社員総会での飲料代、Zoom会議費用。

研修会費用：オンデマンド開催にかかった費用。

顧問料：税理士顧問料、行政書士への相談料。

租税公課：消費税約47万円。

##### 【精度管理会計】

###### 「収入の部」

自治体契約金：47都道府県との契約受託金。

## 「支出の部」

外部・内部精度管理：主に成育医療研究センターとの業務委託契約費用。

コンサルセンター：チラシの印刷・発送費。

タンデム通信：タンデムマス通信作成・発送費。

会議費：主にネットワーク会議に関する費用。

人件費：精度管理支援事務局などの費用。

一般管理費：税金、学会事務局業務委託費、顧問料など。

システム積立金：今後のシステム開発などに使用する費用を計上。

### ②監査報告書（重松 監事・山口 監事）

- ・事務局より関連書類一式が事前に郵送で届き、内容について6月26日にZoomで説明を受けて監査を行った。その結果、内容について、問題なく処理されていることを確認した。
- ・監事の報告を受け、2023年度決算報告について満場一致で承認された。

### 2) ろ紙血の採取法・採血時期・保存法の改訂（大浦 理事長）

- ・1998年の「濾紙血の採取法」の改訂版について最終確認を行い、理事会で承認された。
- ・大きな改訂箇所は下記のとおり。
  - ①採血方法（1）採血濾紙について、東洋濾紙製以外も可能とする。使用については自治体判断とするが、「東洋濾紙製 No. 545 との比較性能試験を実施することが望ましい」とした。
  - ②参考動画を記載
  - ③哺乳状況の記述を追記
  - ④新規拡大スクリーニングの記述を追記

### 3) 精度管理受託金の改定について（大浦 理事長）

- ・精度管理にかかる自治体との契約受託金の算出は平成24年度の出生数を基に算出している。ただし、平成24年度と現在と比較すると出生数がかなり減少している自治体があり、一部の自治体からは見直しをして欲しいという意見があがっていた。
- ・精度管理事業が学会に移行したこともあり、令和7年度分より、令和4年度の出生数を基に算出し、受託費用を決定したいという提案があり、満場一致で承認された。
- ・上記算出方法の場合、受託金が減額となる自治体があるため、収入の総額も減額となる予定。
- ・実証事業は数年後に現行の精度管理事業に追加される可能性がある。その場合、追加の費用が発生する可能性もあるため、現時点で算出基準を適正に戻していく必要がある。
- ・自治体によっては、県と政令指定都市とが個々に契約しているところもあるが、今後はこのような点も含め母子保健課と相談する必要がある。また、最終的には国家事業として自治体に費用負担をかけずに実施することが望ましいという意見があった。

### 4) 名誉会員・功労者推薦（大浦 理事長）

- ・名誉会員2名と、功労者1名の推薦があり、理事会にて承認された。

「名誉会員」 杉原 茂孝氏（東京女子医科大学）、  
松原洋 一氏（国立成育医療研究センター）  
「功労者」 酒井 好美氏（愛知県健康づくり振興事業団）

5) 永年勤続者推薦（大浦 理事長）

- ・ 永年勤続者として下記4名の推薦があり、理事会にて承認された。  
藤原 紗季氏（広島市医師会臨床検査センター）  
山本 久美子氏（鹿児島県民総合保健センター）  
橋本 敦子氏（東京都予防医学協会）  
渡辺 和宏氏（東京都予防医学協会）

6) 編集委員会委員追加（窪田 編集委員会委員長）

- ・ 編集委員会より、技師の委員が少ないため、下記の3名を委員に推薦した旨提案があり、理事会にて承認された。  
磯部 充久氏（さいたま市健康科学研究センター）  
小川 恵氏（岐阜県公衆衛生検査センター）  
吉田 真一郎氏（KM バイオロジクス株式会社）

7) 論文投稿同意書、利益相反報告書（窪田 編集委員会委員長）：別添資料1

- ・ 論文投稿の際、同意書や利益相反報告書の提出を求めていなかったが、投稿の際には筆頭著者だけでなく、共著者にも責任が生じることなどから、編集委員会にて新たに作成した旨報告があり、理事会にて承認された。
- ・ 利益相反報告書には「提出する論文に関して」という記述を追記する。
- ・ 利益相反の内容は、学会理事・監事に実施している利益相反調査内容と同様にしている。
- ・ 英語バージョンも作成し、次回理事会にて投稿規程の改訂案と合わせて提出する予定。

8) 定款一部変更（大浦 理事長）

- ・ 7月に事務所を移転するため、定款の記載に変更が生じる。次回社員総会にて承認を得たうえで定款変更の登記を実施する。

9) その他

①IJNS 最優秀演題賞（IJNS Best Presenter Award）

- ・ COI の表示など、ルールが決まっていないため、次年度に向けてマニュアルを作成する。

②第51回学術集会

- ・ 8月23日（金）9時から優秀演題賞候補演題セッションを開催予定。6名の候補者から1名を選出し、会員総会で表彰する。

### 3. 報告事項

#### 1) 実証事業の精度管理について（大浦 理事長）

- ・ こども家庭庁母子保健課より、6月21日に実証事業に関する通知が発出された。同時に自治体に向けて、令和6年度実証事業への公募も開始された。この通知では、実証事業に参加する際には、精度管理を行うことが条件となっている。精度管理は本会が実施する旨も通知されている。
- ・ 実証事業の契約にかかる費用は7万～11万円程度を予定している。
- ・ 自治体からの協議書提出期限は7月5日、7月26日にはこども家庭庁が参加する自治体を決定し通知（内示）するとのこと。
- ・ 本会は内示発出後、契約の手続き（見積書発送含む）を進める予定。
- ・ なお、実証事業には参加しないが精度管理の実施を希望する場合は、学会独自で対応することになる。検査施設との契約も検討している。現在、検査施設宛に実証事業に参加したかどうかのアンケートを実施中。
- ・ 実際の検査は9月～10月開始予定。
- ・ 本事業については、現行の精度保証システム委員会のメンバーのほか、技術部会から推薦されたメンバーで委員会を設置して運営する予定。
- ・ 委員会の名称については、「新規拡大スクリーニング精度管理委員会」とする。

#### 2) 日本小児科学会用語委員会委員について（大浦 理事長）

- ・ 日本小児科学会より、用語委員会委員の推薦について依頼があった。現在は鹿島田健一先生に委員を依頼しているため、今年度も継続していただく。

#### 4. 閉会の辞（大浦 理事長）

- ・ 理事長より閉会の挨拶があり、理事会は終了した。

以上

2024年7月25日

一般社団法人 日本マススクリーニング学会

議長： 大浦 敏博



議事録署名： 重松 陽介



議事録署名： 山口 清次

